

「くるみん認定」を受けました！



くるみん認定とは

子育て支援に積極的に取り組む企業に対して、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣より認定を受けることにより付与されるものです。
愛知時計電機は、2021年5月21日にくるみん認定を受けています。

子育て支援制度

愛知時計電機では、男性も女性も活躍できるように子育て支援に力を入れています。

産前産後休暇

産前6週間、産後8週間の休暇を取得することができます。



子の看護休暇

1年度に5日間を限度に、子の看護のための休暇を取得することができます。
休暇は、1時間単位で取得できます。

育児休業

子どもが2歳に達するまで取得できます。



配偶者出産特別休暇

配偶者の分娩前後14日以内に3日を限度として取得することができます。

短時間勤務制度

2時間を限度とし、1時間単位で所定労働時間を短縮することができます。

出産祝金

会社と労働組合から出産祝金が支給されます。

※詳しくは、企業サイトの CSR/健康経営/多様な働き方の推進 に掲載

制度利用実績

※2020年度実績

育児休業取得率

女性 **100%** 男性 **9.5%**



配偶者出産特別休暇取得率

72.7%



育児目的の時短勤務者

女性 **9名** 男性 **1名**



社員インタビュー 1

内部監査室 佐藤 仁美さん

2008年入社、経営企画室、人事部を経て現在は内部監査室で勤務
2018年5月に出産、約1年の育休を経て、2019年4月に職場復帰



現在の仕事内容

内部監査室に所属しており、社内のミス等を防止・発見する仕組みが整備されているか、その仕組みがきちんと運用されているかを確認しています。社員が安心して働ける環境づくりをサポートする仕事であり、やりがいを感じています。

仕事と育児の両立で大変なこと

通常より短く、子供が0歳のうちに復帰したため、最初は夜泣きなどの対応が大変でした。今は、限られた時間をどう使うかが大変です。家庭では、朝早めに起きて子供が起きてくる前に必須の家事を済ませ、仕事では、期日より早めに終わらせるように計画をたて、子供の体調不良で急に休まなくてはいけないことが発生しても、残業をせずに期日に間に合うようにしています。

社内の協力体制

現在、時短勤務ですが、「時間、大丈夫？」と気にかけてもらえ、安心して就業することができています。子供の急な体調不良の時も、早く休ませてもらえ、制度として子の看護休暇もあるため、助かっています。また、以前いた部署では、社外の人に関わる業務があり、自分の業務時間外に打合せを設定しなければいけないこともありましたが、後輩にお願いし、対応してもらっていました。

今後の目標

時短勤務は小学校3年生までなので、フルタイム勤務に戻した時に子供に家事を手伝ってもらえるように、今から少しずつ教えていきたいと考えています。また、今はまだ子供が小さいため、出張は都度相談して対応していますが、家庭とのバランスをみながら徐々にできるようになっていきたいです。将来的には、新たな業務にもチャレンジし、キャリアアップしていきたいと考えています。

社員インタビュー 2

R&D本部 幾島 啓介さん

2006年入社、一貫して開発業務に従事
2020年6月から約1か月間育休を取得



現在の仕事内容

流量計の電子回路設計を主に担当しています。現在は、将来の新製品に向けての基礎技術研究や、既存製品の改良開発などに携わっています。その中で流量計の性能向上に向けてセンサーまで含めた信号系全体の開発を行っています。材料や超音波など物理的な知見も必要で、難しい技術課題に対して自分達のアイデアで解決に至ったときは開発者として大きな達成感を感じています。

育休取得の経緯

妻の出産に際し、妻のお母さんが手伝いに来てくださる予定でした。しかし、出産予定の2020年5月を控えた2～3月頃になるとコロナウイルス感染症の影響で、来られない状況になりました。上に二人子供がいて、赤ん坊も含めて妻一人で世話をするのは、とても大変になると考え、上司に相談し急遽育休を取得することにしました。業務は二人体制で行っていたので、比較的スムーズに引継ぎが行えたと思います。育休取得の2か月前には他のメンバーにも伝えていたので、大きな混乱なく育休に入ることができました。

育休中の過ごし方

家事と小学校2年生と保育園年少の子供2人の世話をしていました。コロナの影響で普段と違う雰囲気的生活中になかなか慣れない様子だったので、落ち着いて生活できるように家の中でも楽しい空気になるように努めました。また時々公園に連れ出して鬼ごっこやパドミントンをして気分転換ができるように工夫しました。子供を寝かせるのが大変で、母親と寝たい。と言う子供たちをなだめて寝かせていました。育休をとったことで、赤ん坊という貴重な時間を堪能できたと感じています。